



経営実践研究会 アドバイザー紹介



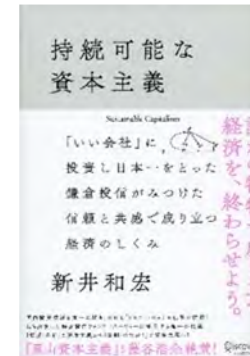
東邦レオ株式会社 代表取締役会長
経営実践研究会 アドバイザー
橋 俊夫 氏



愛媛県生まれ、甲南大学在学中に、自費で世界一周に出発、73年大手旅行社に入社。74年東邦パーライト(現・東邦レオ)に入社、90年同社社長に就任。93年東邦レオ株式会社に社名変更。
経営理念は利他の精神を基本とし、人生の結果は、情熱×能力×考え方によって決まり、考え方の方向がもたらす幸福への影響は重大であると位置づけている。正しい考え方、正しい志を教育啓発し、若いリーダーの育成と支援のため、2013年9月にレオ財団を設立。レオ財団は、ひとのために生きようとする人の育成と、こうした価値観を大切にする社会の実現を目指します。そのために、政治・教育・社会事業の3分野で、社会に影響を与え得る有能な人材や組織を発掘し、正しい志を啓発してその活動を支援いたします。そして、活動の輪が広がることで、私たち一人一人と私たちの国が幸せになり、さらに世界の人々と共存しながら平和で豊かな未来が実現できるよう貢献いたします。



株式会社eumo 代表取締役
経営実践研究会 アドバイザー
新井 和宏 氏



1968年生まれ。東京理科大学卒。1992年住友信託銀行（現・三井住友信託銀行）入社、2000年バークレイズ・グローバル・インベスターズ（現・ブラックロック・ジャパン）入社。公的年金などを中心に、多岐にわたる運用業務に従事。2007～2008年、大病とリーマン・ショックをきっかけに、それまで信奉してきた金融工学、数式に則った投資、金融市場のあり方に疑問を持つようになる。2008年11月、鎌倉投信株式会社を元同僚と創業。2010年3月より運用を開始した投資信託「結い2101」の運用責任者として活躍した。鎌倉投信退職後の2018年9月、株式会社eumo（ユーモ）を設立。

かんしんビジネスクラブ アドバイザー、Sustainable Co-Innovation Forum（SCIフォーラム）理事、ホワイト企業大賞企画委員、エッセンシャルマネジメントスクール顧問、サスティナブルストーリー取締役、VENTURE FOR JAPAN オフィシャルサポーター特定非営利活動法人いい会社をふやしましょう理事（2012年～2018年）、横浜国立大学経営学部非常勤講師（2012年度～2015年度）、経済産業省おもてなし経営企業選考委員（2012年度、2013年度）2015年5月11日放送

NHK 「プロフェッショナル～仕事の流儀」出演

著書『投資は「きれいごと」で成功する』（ダイヤモンド社）、『持続可能な資本主義』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）、『幸せな人は「お金」と「働く」を知っている』（イーストプレス）、『共感資本社会を生きる』（共著・ダイヤモンド社）



成基コミュニティグループ CEO / 教育再生実行会議
経営実践研究会 アドバイザー
佐々木 喜一 氏



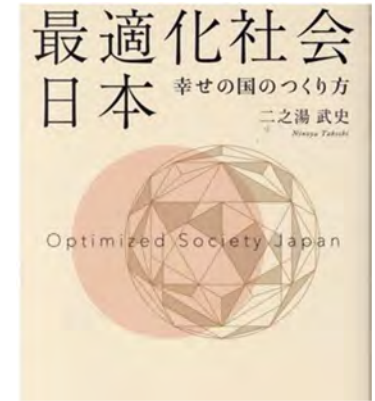
1958年京都市生まれ。同志社大学文学部卒業。1987年29歳で進学塾成基学園の第二代理事長に就任。当時5教場の学習塾から幼児教育、個別教育、国際教育、小中高受験教育、大学生支援教育、社会人・父母コーチング教育等の総合教育（生徒数20,000人、スタッフ2,000人、教場数139拠点）として発展させる。(株)成基、(株)成基コミュニティ、(株)成基総研の代表取締役社長に就任（現在、成基総研は会長）、成基コミュニティグループの代表兼CEO。2014年に一般社団法人志教育プロジェクト副理事長に就任。2015年には一般社団法人日本エデュバイト協会を設立、会長に就任。

2018年8月一般社団法人教育再生実行連絡協議会を設立、代表幹事に就任。2013年1月より、安倍首相直属の諮問機関である教育再生実行会議の有識者委員15名のひとりに選ばれ、安倍内閣が最重要課題として位置付ける様々な教育改革に携わる。その功績として、同年4月、安倍首相主催の「桜を見る会（新宿御苑）」、また2015年11月、宮内庁より赤坂御苑で開催される天皇陛下皇后陛下主催の「秋の園遊会」に招待される。個別教室ゴールフリーは、オリコン日本顧客満足度®調査「高校受験 個別指導塾 近畿」部門にて、2014年、2015年、2017年の3度、第1位に輝く。

2015年3月から、一般社団法人志教育プロジェクト副理事長に就任。世界200か国、日本1,500市町村で、100万人の青少年に志教育の普及に務める。



最適化社会プロデューサー/元参議院議員/経営実践研究会 アドバイザー
二之湯 武史 氏



1977年京都市生まれ。京都大学経済学部を卒業後、松下政経塾（第21期生）、稲盛財団フェロー（第1期生）、起業を経て、2013年参議院議員に当選。『戦後モデル』の打破をテーマに、資本主義のあり方、文化立国、クリエイティブ革命など次々と新機軸を打ち出す。

現在、桜美林大学客員教授をはじめ、経営者、プロデューサー、コンサルタントなど活躍は多岐にわたる。



長野県立大学 グローバルマネジメント学部教授
ソーシャル・イノベーション創出センター長
京都市ソーシャルイノベーション研究所所長

大室 悦賀 氏



1961年 東京都府中市生まれ。一橋大学大学院商学研究科博士後期課程満期退学。一般企業、行政を経て現職。専門分野はソーシャル・イノベーション、当該分野における理論研究とそれに基づいたアクションリサーチを京都市や長野県で行っている。

著書：『サステイナブル・カンパニー入門』，『ソーシャル・イノベーションの創出と普及』，『ソーシャル・ビジネス：地域の課題をビジネスで解決する』，『ケースに学ぶソーシャル・マネジメント』，『ソーシャル・エンタープライズ』『NPOと事業』など。社会的課題をビジネスの手法で解決するソーシャル・ビジネスをベースにNPOなどのサードセクター，企業セクター，行政セクターの3つのセクターを研究対象として，全国各地を飛び回り，アドバイスや講演を行っている。



株式会社リブラン 創業者
経営実践研究会 アドバイザー
鈴木 静雄 氏



狂愚
三味の経営



69年千葉建設(株)設立。85年CIにより(株)リブランと改称。間もなく50年を迎える。現在日本・地域で最悪の状況にある社会問題は、かなりの部分が戦後思想無く造られた住環境に起因していると指摘し、住宅・不動産そのものが目的・価値ではない。真の目的・価値は、抹殺された“人間の肉体・魂が解放される”ことである。住宅・不動産が目的・価値でないとなると、従来の評価基準は、一変します。行政も、我々業界も真の価値に向かって事業を転換する時であり、そこに無限のマーケットが創出されると提言。現在は、重点コンセプトを健康長寿延伸住宅（エコミックス）、文化（ミュージション）、日本人（和の復活）、家族（夫婦・キッズ）等においてプロジェクトを展開中。現在まで約10,000戸の住宅を供給。98年不動産業界において模範的活動と評され、黄綬褒章を受章。メセナ活動として80年より「グリーンカップ争奪ママさんバレーボール大会」を主催、緑のカーテン運動を全国に展開し被災地仮設住宅への緑化活動を推進、環境教育にも取り組む。91年東京商工会議所第1回「東商ゆとり創造企業」社会貢献大賞受賞。3.11の東日本大震災を機に女川・板橋交流協会会長として尽力し、「おながわ秋刀魚収穫祭 in 日比谷」ではボランティア1300人を束ね、都民25万人動員（ギネス記録）の実行委員長を務める。被災5年目を迎える今年、ドキュメンタリー映画「サンマとカタール」のエクゼクティブプロデューサーを務める。全国から世界へ向けて上映中（11月にカタールを皮切り）一昨年に続き、倫理研究所、東京都倫理法人会の代表として済州島平和フォーラムにおいて倫理経営～倫理資本主義を世界に向けて発信。開催国の韓国より感謝状授与。



小樽商科大学大学院 商学研究科 准教授
経営実践研究会 アドバイザー

泉 貴嗣 氏



CSR（企業の社会的責任）エバンジェリスト、第一カッター興業（株）（東証1716）監査役、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金理事、経営実践研究会アドバイザー。主な活動テーマは中小企業のサステナビリティ（持続可能性）経営、ソーシャルビジネス化の支援と、これに関連する自治体の経済政策の支援。

大学で学生の産学連携教育、社会人のリカレント教育コースでCSR関連科目などを担当した後、CSRエバンジェリストとして独立。さいたま市や静岡市などのCSR政策の制度設計や、これら政策で企業の社会性評価ツールの開発を手掛けたほか、現在は上場企業の社外監査役、NPOの中間支援組織の理事、ソーシャルビジネス化に取り組む中小企業の経営者団体のアドバイザーなども務める（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）



慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科 研究科委員長・教授

前野 隆司 氏



1984年東京工業大学工学部機械工学科卒業、1986年東京工業大学理工学研究科機械工学専攻修士課程修了、同年キヤノン株式会社入社、1993年博士（工学）学位取得（東京工業大学）、1995年慶應義塾大学理工学部専任講師、同助教授、同教授を経て2008年よりSDM研究科教授。2011年4月から2019年9月までSDM研究科委員長。この間、1990年-1992年カリフォルニア大学バークレー校Visiting Industrial Fellow、2001年ハーバード大学Visiting Professor。

現代世界が直面する環境・安全・健康・平和・幸福等、人間がかかわるシステム全般を対象に、学問分野の枠を超え、幅広く研究を行っている。

「脳はなぜ「心」を作ったのか」（筑摩書房、2004） 「錯覚する脳—「おいしい」も「痛い」も幻想だった」（筑摩書房、2007）

「脳の中の「私」はなぜ見つからないのか—ロボティクス研究者が見た脳と心の思想史」（技術評論社、2007）



宮城大学名誉教授
一般社団法人人間力大学校
経営実践研究会 アドバイザー

天明 茂氏



大学卒業後、日本創造経営協会に所属、故薄衣佐吉先生の下で数多くの行き詰った企業の再建に当たる。平成2年許されて天明マネジメントサービスとして独立、経営コンサルティングの傍らTKC主催管理会計研修の講師、地方自治体向け講座、金融機関向けセミナーなど多くの講師を務めるほか、国・県・市町村のプロジェクトに関わる。平成9年から宮城大学・同大学院教授、事業構想大学院大学教授、国際大学客員教授などを歴任。この間、NPO法人自然農食みやぎ副理事長、NPO法人全日本自動車リサイクル事業連盟理事長、あおもり立志挑戦塾塾長、宮城県多賀城市行財政経営アドバイザーなどを務める。

【著書】

「なぜ、うまくいっている会社の経営者はご先祖を大切にしているのか」

「実践管理会計」「挨拶で変わる会社が生きる」「志企業のすすめ」

「自治体のバランスシート」「資金繰りに強い会社を作る法」

「赤字会社を黒字にする法」「利益計画の立て方進め方」「合理を超える経営」など多数。



社会保険労務士法人 名南経営 相談役
経営実践研究会 アドバイザー

小山 邦彦氏



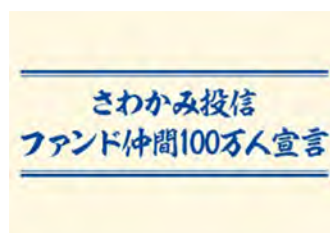
1985年から2016年まで名南コンサルティングネットワークにおける人事労務事業の代表を務める。現在全国で1,200名以上の会員を有する「日本人事労務コンサルタントグループ（LCG）ファウンダー。人事労務コンサルティングをメインにしていたが、近年は制度構築のみならず組織開発をベースにしたチームビルディングも展開。

また、東洋思想ベースのリベラルアーツ社員育成、健康経営コンサルティング、「ティール組織」に代表される自律分散システムの研究にも注力している。



さわかみ投信株式会社 代表取締役
経営実践研究会 アドバイザー

澤上 龍 氏



1975年千葉県生まれ。2000年5月に純資産総額3,300億円を超えるさわかみ投信株式会社に入社後、ファンドマネージャー、取締役などを経て2012年に離職。その間2010年に株式会社ソーシャルキャピタル・プロダクションの創業、2012年にウルソンシステム株式会社の経営再建を実行し、2013年にさわかみ投信株式会社に復帰、1月に代表取締役社長に就任。

現在は、「長期投資とは未来づくりに参加すること」を信念に、その概念を世の中に根付かせるべく全国を奔走中。コラム執筆や講演活動の傍ら起業や経営の支援も行う。株式会社ソーシャルキャピタル・プロダクション代表取締役社長、株式会社Yamatoさわかみ事業承継機構取締役なども兼務。



琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社 代表取締役
経営実践研究会 アドバイザー

早川 周作 氏



大学受験直前に家業が倒産、父親が蒸発し家財をすべてを失い無理心中寸前まで追い込まれるが、前向きな上昇志向で、大学進学を目指して上京。朝の新聞配達から深夜の皿洗いまでアルバイトをして、学費を作り明治大学法学部に進学。大学在学中の20代前半から、学生起業家として数多くの会社の経営に参画して活躍する。その後、元首相の秘書として約2年間勉強し、28歳で国政選挙に出馬、次点。経営者に戻ってからは「日本のベンチャーを育てる」という意志の下、日本最大級の経営者交流会を全国で主催。2018年2月、沖縄から卓球のプロリーグであるTリーグに参戦する「琉球アスティーダ」、卓球スクール、飲食店等を運営する琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社を設立し、代表取締役に就任。2021年東京プロマーケット上場を果たし業種業界を超えた幅広い分野で活躍している。



一般社団法人日本女子力推進事業団 代表理事

経営実践研究会 アドバイザー

池内 ひろ美 氏

Girl Power Osaka



女子の力で世界を変える、女性を支援し活躍推進するNGO

家族問題評論家 ・1961年岡山生まれ。一女の母。

夫婦・家族問題評論家。家族メンター協会代表理事。一般社団法人ガールパワー代表理事。内閣府後援女性活躍推進委員会理事。

96年より「東京家族ラボ」主宰。精神科医、弁護士、心理カウンセラー他専門家が参加しカウンセリング、ワーク・ショップ、講演会、研究会等を行なう。98年、東京家族ラボ法人化。結婚と離婚、恋愛、親子関係などのコンサルティングを行ないながら、現代の男女・家族のコミュニケーションから、本人が幸せを感じて生き方にいたる問題を相談者とともに考える。相談件数は3万8000件を超える。SDGsへの取り組みも積極的に行う。

95年から著作活動をはじめ。人生をリストラクチャー（再構築）するため前向きに選択する離婚を「リストラ離婚」と名づけて上梓した後、離婚にかぎらず、夫婦・家族・親子・教育に関わる作品を発表し続け、現在までに31作品を上梓している。。



デコボコベース株式会社 代表取締役CEO
経営実践研究会 アドバイザー

上 岳史氏

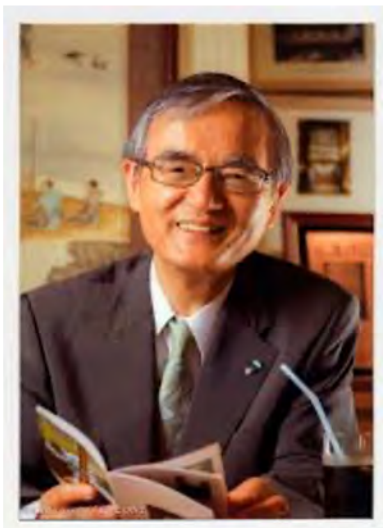


凸凹が活きる社会を創る。



1971年、教育者の両親の元に生まれる。高校2年生時、奨学金でアメリカへ留学し、卒業。上智大学文学部教育学科卒業。多摩大学院でMBA(2009)を、星槎大学大学院(2017)で教育学修士を取得。大学在学中に創業し、(現)アルファグループ株式会社を代表取締役社長として、JASDAQ上場へ導く。

赤字部門を事業譲受し、(現)ハッピーテラス株式会社を2014年に創業。代表取締役社長に就任。



ツカキグループ 代表取締役社長
経営実践研究会 アドバイザー

塚本 喜左衛門 氏



塚本 喜左衛門氏（六代目 つかもと きざえもん）。きもの、宝石、毛皮、補正下着の製造卸、ウェディング衣裳のレンタル、不動産のリーシングを行うツカキ・グループのオーナーであり、塚喜商事 株式会社の代表取締役社長。NPO三方よし研究所の理事長などを務める。1948年滋賀県の五個荘（現・東近江市）にて、先代塚本喜左衛門（五代目）の長男（幼名：喜一郎）として生まれる。1971年 大阪市立大学 経済学部を卒業。



株式会社ウエダ本社 代表取締役
経営実践研究会 アドバイザー

岡村 充泰 氏



- 1963年8月30日 京都府京都市生まれ。
- 1985年 繊維専門商社瀧定株式会社に入社し、1993年 30歳で独立創業。主にイタリアからの輸入貿易と共に、商社などへの企画提案、営業代行などを行なう。
- 2000年 ウエダ本社、代表取締役副社長に就任。長年赤字であった、家業のウエダ本社再建の為、再建に着手する。
- 2002年 ウエダ本社代表取締役社長に就任。2003年より負債を整理し、子会社であるウエダシセツと合併し、現体制のウエダ本社として第二の創業を図る。
- 2008年 無借金状態となり、足元を固めた財務状況を背景に新たな展開へ転じる。創業70周年を記念して、京都流議定書イベントを開催。以降、毎年京都への問題提起として定期開催イベントとする。



コドモエナジー株式会社
経営実践研究会 アドバイザー
岩本 泰典 氏



2004年コドモエナジー株式会社設立

有田焼と出会い、「ルナウェア」の商品化。2012年第4回ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞受賞。
“被災地でものづくりを”と考え福島県双葉郡川内村を訪れ、元の生活を取り戻そうと必死に取り組んでいる地元の方々と共に歩むと決める。

この地を災害に強い避難誘導標識「ルナウェア」の製造拠点にする事で、コドモエナジー株式会社の使命であると確信し、2014年川内村に工場を建設。

続いて2016年11月村内に唯一のカフェ「CaféAmazon福島1号店」を出店。

2018年7月タイ北部の洞窟に閉じ込められた13人の少年たちの救出活動に使用されたのは、蓄光磁器「ルナウェア」。



関西学院大学名誉教授 芸術文化観光専門職大学教授
経営実践研究会 アドバイザー

佐藤 善信氏



博士（経営学）兵庫県立大学

1981年神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学、流通科学大学教授を経て2005年より現職。1993年9月より1年間、ビジネススクール（BS）の教育・運営を研究するために、ヴァージニア大学ダーデンBSに留学。帰国後、1996年より流通科学大学中内BS校長を2期務める。授業は自作のケースを活用したケースメソッドを、また研究方法も「現場と理論の往復運動」を重視したエスノグラフィーやアクションリサーチをベースにしている。神戸大学や小樽商科大学BSの外部評価委員も歴任。日本商業学会学会誌『流通研究』元編集長、日本マーケティング学会理事。



社会福祉法人 学正会 理事長
経営実践研究会 アドバイザー

金納 理一 氏



社会福祉法人 学正会 理事長
児童養護施設 白梅学園 施設長
ネクストブリッジ協同組合発起人理事
SDGsビジネスマスター（beyond SDGs Japan認定）



株式会社あなたの幸せが私の幸せ CHO兼CPO
社会福祉法人知心会 理事長
経営実践研究会アドバイザー
栗原 志功 氏



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科修了。22歳で携帯電話の路上販売を始める。健康ランドに7年間寝泊まりし、その後電化製品がない暮らしを3年過ごしつつ、「携帯電話販売日本一」を何度も獲得。現在、介護・携帯電話・人財教育・お掃除・障がい者就労支援など、経営する会社は12社。当時1人で始めたが今では従業員数1300人。世界中の人々を幸せにするために「幸福学」を研究し実践。世界の幸せを知ろうと世界4周・75カ国を訪問した経験を持つ。



株式会社ペライチ 創業者取締役会長

経営実践研究会アドバイザー

山下 翔一 氏



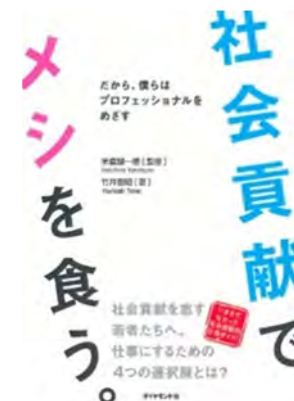
1983年佐賀県生まれ。 広島大学大学院理学研究科数学専攻 博士課程前期修了。

■活動内容 ・ 口コミの力で40万社・人が利用、世界一カンタンなWebページ作成サービスを入り口に1億総ネット利活用時代を目指す『ペライチ』創業者 取締役会長 ・ 600以上の自治体の首長が加盟『2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合』代表サポーター（企業代表） ・ 大阪・関西万博2025 アドバイザー、TEAM EXPO 共創パートナー ・ 『応援村（経産省連携）』 実行委員・広報部長 ※日経トレンディ「2020年ヒット予想」で1位を獲得 ・ 環境省主導の国家プロジェクト『地域循環共生圏プロジェクト（ローカルSDGs）』アドバイザー ・ 日本の古き良き「おもてなし」と「お心づけ」のDXで感謝経済の実現を目指す『ごちっぷ』創業者 取締役会長 ・ 未来の地方創生のデファクトスタンダードを目指す香川県東かがわ市「創生総合戦略アドバイザー 兼 わくわく課 課長」 その他、佐賀県有田町など複数自治体のアドバイザー等 ・ 真の地域活性化を目指す『一般財団法人カブジチコンソーシアム』代表理事 ・ 世界60拠点 5万人以上を巻き込み応援で幸せ溢れる社会の実現を目指す『おうえんフェス』 発起人 会長 ・ 立ち上げ直後のコロナ禍の3ヶ月で10億円の飲食店支援を実現、新時代の飲食店支援サービス『ごちめし・さきめし・びずめし』アンバサダー・株主 ・ 夢を描き合い、実現を助け合う『一般社団法人七夕協会』顧問 ・ 次世代の産業界のグローバルリーダーを育成し、ICTで現代の維新を目指す『情報経営イノベーション専門職大学』客員教授 ・ 全国の多数の法人や団体の Founder ・ 株主 ・ 役員 ・ 顧問等 合計で100以上の法人や自治体やプロジェクト等のFounder ・ 代表 ・ 役員 ・ 顧問等を務めている。

■マイビジョン 世界中の全ての人が自立した幸せを手に入れ、恒久的な世界の平和を実現する。



株式会社 ソーシャルプランニング 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー
竹井 善昭 氏



マーケティング・プランナーとして、多数の企業の商品開発、業態開発に関わる。メディア・プロデューサーとして多数のテレビ番組企画、雑誌創刊プロデュース、ウェブサイト構築。近年は社会貢献に特化し、CSRコンサルティング、ソーシャル・ビジネス・コンサルティングを行う。
著書に「社会貢献でメシを食う」（ダイヤモンド社刊）、連載にダイヤモンド・オンライン「『社会貢献』を買う人たち」等多数。



株式会社 エンパブリック 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー
広石 拓司 氏



1968年生まれ、大阪市出身。東京大学大学院薬学系修士課程修了。シンクタンク（三和総合研究所（現 三菱UFJリサーチ&コンサルティング））勤務後、2001年よりNPO法人ETIC.において社会起業家の育成に携わる。2008年株式会社エンパブリックを創業。。「思いのある誰もが動き出せ、新しい仕事を生み出せる社会」を目指し、ソーシャル・プロジェクト・プロデューサーとして、地域・企業・行政など多様な主体の協働による社会課題解決型事業の企画・立ち上げ・担い手育成・実行支援に多数携わる。住民・社員の主体的参画を促す場づくりを、自社の根津スタジオ、ちよだコミュニティラボ、東京ホームタウンプロジェクト、日野リビングラボなどにおいて、年200本以上実施。

著書として「共に考える講座のつくり方」「専門家主導から住民主体へ～場づくりの実践から学ぶ『地域包括ケア×地域づくり』」「SDGs人材からソーシャル・プロジェクトの担い手へ～持続可能な世界に向けて好循環を生み出す人のあり方・学び方・働き方」など執筆多数。東京都生涯学習審議会委員、慶應義塾大学総合政策学部、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科、立教大学経営学部などの非常勤講師も務める。



非営利株式会社eumo 共同代表
経営実践研究会アドバイザー
武井 浩三 氏



ダイヤモンドメディア株式会社創業者、Commons LLP. Board member、(一社)自然経営研究会 発起人/代表理事、(一社)不動産テック協会 発起人/代表理事、ホワイト企業大賞 企画委員会 委員
横浜生まれ。高校卒業後ミュージシャンを志し渡米、Citrus College芸術学部楽学科を卒業。
帰国後にCDデビュー。その後起業するも、倒産・事業売却を経験。

「関わるもの全てに貢献することが企業の使命」と考えを新たにし、2007年にダイヤモンドメディアを創業。経営の透明性をシステム化した独自の企業文化は、「管理しない」マネジメント手法を用いた次世代型企业として注目を集め、ティール組織・ホラクラシー経営等、自律分散型経営の日本における第一人者としてメディアへの寄稿・講演・組織支援などを行う。現在は組織論に留まらず、自律分散・持続可能・循環をキーワードに、社会システムや貨幣経済以外の経済圏など、社会の新しい在り方を実現するための研究・活動を行なっている。



広島筆産業株式会社 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー
城本 健司 氏



初代城本穰一氏が1881年広島県熊野村で初の「筆結い」鑑札を受け、毛筆製造／販売を開始そこから128年目、6代目として代表取締役に就任。2011年「和風化粧筆セット」が観光庁の「魅力ある日本のおみやげコンテスト」にてエッセンシャルジャパン部門銅賞を受賞。2019年「携帯用高級化粧筆 蒔絵」が「おもてなしセレクション2019」を受賞。



株式会社IBAO 代表取締役
経営実践研究会 アドバイザー

上島 一泰 氏



1961年1月27日生まれ。87年1月（株）ウエシマコーヒーフーズ入社、87年12月同社退職・伯国三菱商事（株）入社、90年4月（株）ウエシマコーヒーフーズ復職・同取締役国際部長、99年4月代表取締役社長（COO）就任。在神戸ブラジル名誉領事、（社）大阪青年会議所2000年会頭。



元衆議院議員 前参議院議員
法務大臣政務官
経営実践研究会アドバイザー

中村 哲治 氏



1971年7月24日生まれ。奈良生まれ・奈良育ち
2007年第21回参議院議員選挙において、奈良県選挙区で当選、その後民主党が政権与党に法務大臣政務官に就任。2010年参議院法務委員会で党側筆頭理事に就任。民主党・新緑風会 政審会長代理、民主党 政策調査会副会長

参議院憲法審査会幹事。その後2012年民主党を離党「国民の生活が第一」へ「社会保障と税に関する特別委員会」理事

日本をすべての国民がだれ一人として経済的に困ることなく、心豊かに暮らせる国にするために、「お金のしくみ」の勉強会を開催する。

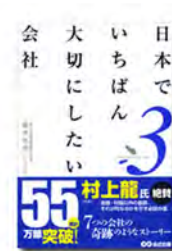


株式会社清月記 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー
菅原 裕典 氏

日本で
いちばん
大切にしたい
会社

3

清月記が掲載されました。



1960年、仙台市生まれ。東北学院大学経済学部卒業後、名古屋の葬儀社で1年間修業。帰仙して1年の準備期間を経て、1985年3月、父親と共に有限会社すがわら葬儀社を創業。1991年、株式会社すがわら葬儀社に組織変更。2001年より代表取締役。

2010年、株式会社清月記に社名変更。仙台市内を中心に葬祭会館「清月記」11カ所と、ファミリーブランドの会館2カ所、ぶつだんギャラリー清月記4店舗を展開。2011年2月、飲食事業部門「四季の彩りー乃庵。」を開設し、飲食事業の直営化を図り、葬儀以外にもケータリングを行う。



株式会社eumo 代表取締役 ユーモアカデミーディレクター
経営実践研究会アドバイザー

岩波 直樹 氏



大学卒業後、富士銀行(現みずほ)入行。2002年ワークハピネスの立ち上げに参画。

世界有数の外資系製薬会社の採用戦略コンサルティング、数十年利益の出ていなかった老舗ホテルのターンアラウンド、民放キーテレビ局の人事制度改革など数多くを成功に導く。現在は、従来の組織マネジメントにプライムチェンジを起こす組織開発プロセスデザイン等を手掛ける一方、これからの人類文明の進化における社会システムの創造研究を行う。

チーム型組織開発 成人発達成長支援（認識の拡大・OSチェンジ） 自律分散型社会創造研究



株式会社オウケイウェブ 創業者
一般社団法人HEART SHAKER代表理事
経営実践研究会アドバイザー

兼元 謙任 氏

ありがとう数 4,600万件
助け合いのQ&Aサービス



1966年7月愛知県生まれ。愛知県立芸術大学卒業、株式会社GK京都、株式会社ダイワ、株式会社イソラコミュニケーションズを経て、1999年株式会社オウケイウェイヴの前身、有限会社オーケーウェブを設立。2000年2月より現職。日本初、最大級のQ&Aサイト「OKWave」の運営と、関連する企業向けサービスを提供。2010年に10ヶ国語、100ヶ国でのサービス提供に向け、事業を展開。主な著書には『グーグルを超える日』（ソフトバンククリエイティブ）、『ホームレスからのリベンジ』（小学館）など多数。

その後、心をふるわせるような「感謝」したくなる人や企業・団体を探索・発見・共有し、「感謝の豊かな世界を広げる」ことを推進するために2021年6月に一般社団法人ハートシェイカーを設立。

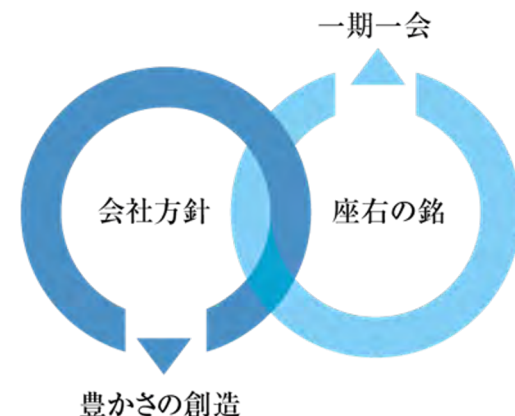


サワディ地所株式会社 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー

福井 正順 氏



サワディ地所株式会社

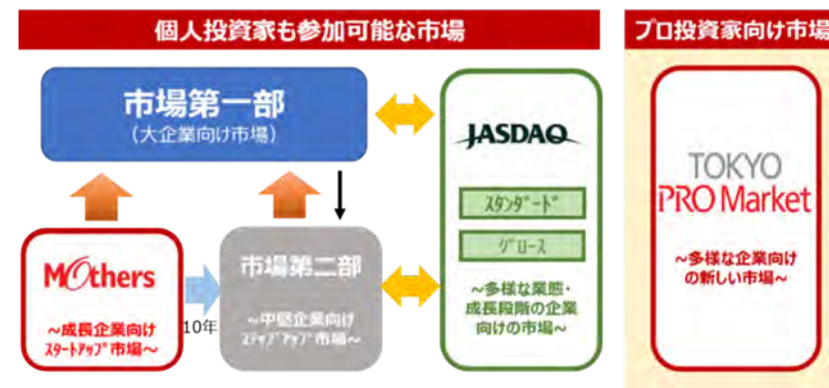


- 1956年 9月 兵庫県たつの市生まれ
- 1981年 3月 慶応義塾大学卒業
- 1981年 4月 伊藤忠商事株式会社 入社
- 1992年 9月 同社退社
- 1992年 10月 大阪南部の泉州地域にて不動産事業に携わる
- 1997年 12月 福井住宅販売株式会社を設立
- 2001年 10月 サワディ地所株式会社に商号変更。サワディグループ設立
- 2004年 3月 関西学院大学大学院 商学研究科修士課程（MBA）終了



フィリップ証券株式会社 常務執行役員投資銀行本部長
経営実践研究会アドバイザー

脇本源一 氏



神戸大学卒、大和証券(株)入社後、大和証券および楽天証券で公開引受実務に携わると共に、日本国内およびシンガポールのベンチャー企業で上場業務に携わる。上場サポートの最強プロフェッショナルとして、東証とともに東京プロマーケット立ち上げた第一人者。

現在フィリップ証券で東京プロマーケット市場を中心としたコーポレートファイナンス業務を行い、多くの中小企業を東京プロマーケット市場へ導いている。



株式会社ジャパングリエイトグループ 代表取締役会長
経営実践研究会アドバイザー

五十嵐 庸公 氏



JCグループは2001年8月に製造業向けのアウトソーシング事業、株式会社ジャパングリエイトとして発足。設立当初来のキーワードは「事業の価値」であり、当時どの会社も同様のサービスをしている中で、この業界に「新しい価値を創造する企業（バリューアウトソーサー）」を旗頭に設立しました。2019年となった今、業界でも先進的な認証である「製造請負優良適正事業者認定制度」や「優良派遣事業者認定制度」、「OHSAS18001」など多くの認証を得る。経営理念の一つに「企業は人なり」という言葉があり具現化するために2017年に人材育成を行うJCアカデミーを設立。現在ジャパングリエイトグループはホールディングスとしてグループ傘下に15社の会社で25ほどの事業を展開しております。人材ビジネスから食品流通事業、玩具の製造販売や地質調査事業など多岐にわたって地域の経済発展に貢献する。連結売上499億（2020年度）



株式会社エム・アイ・ディジャパン 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー

三井 慶満 氏

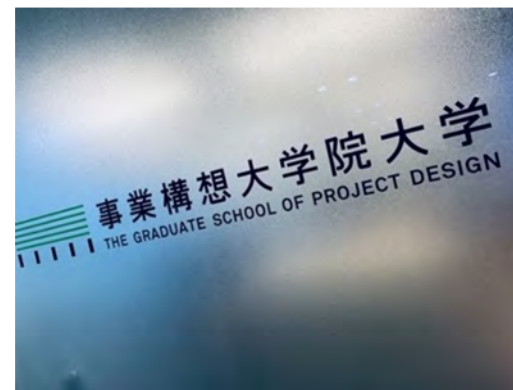


1959年生まれ。東京都目黒区出身。パチンコホール経営に関わり、FC部門の運営を手掛ける。1998年に(株)エム・アイ・ディジャパンを設立し社員数407名、売上高198億（2019年度）に成長させる。新潟県中心に遊技場を展開。その後、遊技業界発展のための設立された一般社団法人全国遊技ビジネス振興会の初代会長に就任し、現在は最高顧問となる。また、現在では一般財団法人ILFJでは代表理事を務め、ミャンマー格闘技ラウエイの振興とミャンマーとの交流を深めている。2002年2月第4回新潟県経営品質賞 奨励賞(中小企業部門) 受賞。



若林ビジネスサポート 代表
事業構想大学院大学 客員教授
経営実践研究会アドバイザー

若林 宗男 氏



- 1975年 国際基督教大学教養学部社会科学科卒業、テレビ東京入社
- 1982年 テレビ東京ニューヨーク支社を開設、支社長として3年間執務
- 1988年 ワールドビジネスサテライトを立ち上げ、初代ニュースキャスター
- 1989年 天安門事件を取材、報道局長賞受賞
- 1995年 テレビ東京のホームページを予算ゼロで開設
- 2013年 福岡県の農山村と都市の絆づくり事業でうきは市と星野村のアドバイザー
- 2014年 九州大学と西日本シティ銀行のビジネス創造交流会ファシリテーター
- 2015年 (一社)ふるさと創成の会と(一社)九州の食の設立に参画、両団体の理事
- 2016年 (一社)九州観光推進機構九州観光広報センター副センター長兼海外担当、熊本地震による海外での風評被害対策の経済産業省事業One Kyushu Project担当
- 2017年 経済産業省九州経済産業局知的財産室主催九州ブランド総選挙審査委員長、八女商工会議所福島地区観光振興プロジェクトアドバイザー
- 2018年 九州経済産業局知的財産室主催九州地域ブランドコンペティション審査委員長、(一社)九州通訳・翻訳者・ガイド協会の設立に参画、理事
- 2019年 九州経済産業局知的財産室主催地域団体商標の活用状況・課題の調査・分析及び支援モデルの実証事業検討会委員長、事業構想大学院大学客員教授



株式会社HSPB 代表取締役社長

徳川宗家 財務顧問

経営実践研究会アドバイザー

柴田 秀樹 氏

1966年京都府生まれ鎌倉育ち。

母方の実家は明治37年創業の老舗「鶴寿軒」で京都府舞鶴を中心に旧国鉄、天橋立、綾部など丹後地区で展開。幼少の頃より長寿企業の活動を経験してきた。

大学卒業後は大和銀行（現りそな銀行）入行。プライベートバンキング業務中心に30年勤務。りそな銀行個人営業室長、ウェルス マネジメント室長、SBI証券PB統括 部長、企画室長、ウェルスアドバイザー一室長を歴任。現在は（株）HSPB代表取締役、徳川宗家 財務顧問等で活動。これまでの経験・人脈を活かして、ファミリービジネス、事業承継・老舗企業支援、新事業の支援・創出などに取り組み、経済面だけでなく歴史・文化面も含めて日本の強みが活かされ、日本全体が元気になることを目指しています。



一般社団法人 兵庫総合研究所 政策顧問
前加西市長、元大阪市北区長
経営実践研究会アドバイザー

中川 暢三 氏

昭和30年11月30日生まれ、兵庫県加西市出身、兵庫県立北条高校、信州大学経済学部卒業

松下政経塾、鹿島建設を経て地方自治の世界へ。民間の発想と経営手法も活用して「行政（自治体経営）にイノベーションを起こす」をライフワークとする。公共サービスの質を高め、創造的行政によって市民負担を軽減し、利便性の高い行政を実現する。松下幸之助から公のために尽くす覚悟を教わり、無税国家論をベースに「減税」を政策の柱の一つに掲げる。

塩川正十郎が提唱した「公民連携（PPP）」の思想をもう一本の柱として位置づけ、政治改革と行財政改革のために現地・現場主義による現実的解決策を訴え続けている。

北条鉄道(株)社長時代、全国初の「ボランティア駅長」制度を発案するなどアイデアマン。

東久邇宮文化褒賞受賞



九州旅客鉄道（JR九州）相談役
経営実践研究会アドバイザー

石原 進 氏

成 26 年 6 月より九州旅客鉄道（JR九州）相談役。東京都出身。東京大学法学部 卒業後、日本国有鉄道に入社。国鉄分割民営化後、JR九州に配属。取締役、常務などを経て社長に就任。現在、日本放送協会経営委員会委員長、九州経済連合会副会長、九州観光推進機構会長、在福岡トルコ共和国名誉総領事 も務める。



中村建設株式会社 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー

中村 光良 氏



創業以来70年、地域における都市計画や都市開発に基づいた、各種土木建築における設計・施工・管理において全社員の高い総合技術力とたくましい情熱のもと、官公庁関係諸機関をはじめ民間諸企業にいたる幅広い施工実績を顕示し、各方面から厚い信頼を得て微力ながら都市づくりに貢献してまいりました。21世紀の都市づくりは、確実に後世に伝え残していける街並みや居住空間、しかもそれらは豊かな自然環境との調和の上に成り立っているものでなければならぬと感じ精力的に活動している



社会福祉法人太陽の家 理事長
経営実践研究会アドバイザー

山下 達夫 氏



山口県下関市生まれ。1歳で脊髄（せきずい）性小児まひになり、身体に重度の障害が残った。父は「1日も早く家を出て自立しなさい」と厳しかった。寮生活となる支援学校高等部に入るため、2週間の集中練習で車いすに乗れるようにもなった。卒業後は訓練生として太陽の家に入所した。社員になりたいくて共同出資会社の試験を受けたが、障害もあることから不採用となる。「やめようか」と腐りかけたこともあったが、太陽の家の理念を思い出しては踏ん張った。84年にIT関連の三菱商事太陽（別府市）が創業されると、念願の正社員（システムエンジニア）になった。入社前に創設者の中村氏に「君たちが頑張らないとこの会社は成長しない。頑張れ」と直接声をかけられた。恐れ多かった「恩人」は、目標となった。負けず嫌いの性格に火がつき、30年後の2014年同社長に就いた。「家庭を持ちたい」とも思い続けてきた。それには働いて収入を得ることが不可欠だ。自立をしなければならない。それを実行し、周りに反対されながらも結婚して2人の娘をもうけ、孫にも恵まれた。

1964年の東京パラリンピックでは日本選手団長を務めた中村氏をはじめ、歴代4人の理事長は全て障害者を支える側の医師だった。中村氏の長男で前理事長の太郎氏（57）＝大分中村病院理事長＝は、退任あいさつで「障がい者自身が太陽の家の理事長に就任することは、創設者中村裕の夢でありました」



株式会社国際パフォーマンス研究所
代表取締役

佐藤 綾子 氏



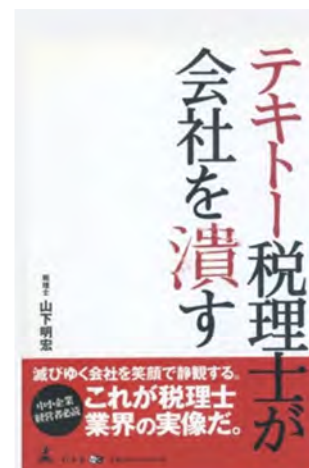
長野県生まれ、信州大学教育学部卒。ニューヨーク大学大学院パフォーマンス研究科卒（M A）、上智大学大学院英米文学研究科卒（M A）、同博士課程修了。立正大学大学院心理学専攻、博士（パフォーマンス学・心理学）。日本大学芸術学部教授を経て、ハリウッド大学院大学教授、（社）パフォーマンス教育協会理事長、（株）国際パフォーマンス研究所代表。自己表現力養成セミナー「佐藤綾子のパフォーマンス学講座」主宰。パフォーマンス心理学の第一人者として、累計4万人のビジネスリーダー、首相経験者含む国会議員のスピーチ指導を行う（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

『1秒オーラ 好意はなぜ発生するのか』より



山下明宏税理事務所 所長
経営実践研究会アドバイザー

山下 明宏 氏



1963年5月9日生まれ。

1995年3月に山下明宏税理士事務所を開業。1996年1月に、日本最大級の会計人の組織であるTKC全国会に入会され、現在は11,000人を超える同組織の全国会顧問を務める。

2012年には経済産業省の経営革新等支援機関の認定を取得。2022年、山下明宏税理士事務所として第6期未来創造企業を取得。また一般社団法人経営実践研究会アドバイザー、未来創造企業チーフコンサルタントご就任。

著書『税理士の使命』（清文社）、『小さな会社を強くする会計力』（幻冬舎）などを執筆。



株式会社フクシン 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー

福崎 二郎 氏



株式会社フクシン 代表取締役 一般社団法人「エンづくり研究所」代表理事 CEBU FUKUSHIN CO.,LTD. CEO(Chief Executive Officer) 日本情報セキュリティ株式会社 取締役 香川大学非常勤講師 一般社団法人かがわガイド協会 日本手袋工業組合常任理事 長尾関税会常任理事 かがわ2020異業種勉強会副会長 (かがわ産業支援財団) クラウドファンディング・アドバイザー C級認定プログラミングリーダー かがわ里海大学海ごみリーダー ワンハンド瀬戸フレンド (地域団体 ビーチクリーン活動など) 「手袋生産日本一の町」香川県東かがわ市に手袋専門商社の息子として 生まれる。武蔵大学体育連合会ヨット部を卒業し、日本生命保険相互会社に就職後、事業継承するために帰郷する。入社後、企画営業部長、専務取締役を歴任し時代の流れを読んだ独自のブランディングと販売戦略で、年商5億円程度の売上だった会社を年商12億まで成長させる。2020年には自社サステナブルブランド「ecuvo,」を発表。社屋屋上に太陽光発電所の設置し、再生可能エネルギー100%で工場を稼働させるなど、先進的な取り組みでSDGs推進企業として認定を受ける。コロナ禍においては、手袋メーカーとしてはいち早くマスク製造に着手し、その様子はテレビ朝日「サタデーステーション」に取り上げられ、Yahoo!ニュース、地方紙、地方テレビ局でも独自の取り組みが多数掲載される。現在は、「日本のコトづくり、モノづくりから、エンづくり」をテーマに、一般社団法人「エンづくり研究所」を設立。自身の経験を活かし、地方経営者を多角的にサポートしている。



ミナミ産業株式会社 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー

南川 勤 氏



1963年三重県四日市市生まれ。武蔵大学経済学部卒業後ミナミ産業に入社。1992年、社長に就任。1994年、初代全国豆腐機器青年工業会会長に就任。

持ち前の研究心と発想力で地元萬古焼とのコラボにより開発した卓上で豆腐ができる「萬来鍋」「萬来豆乳」は海外のフレンチの3つ星レストランでも使われ世界22カ国へ輸出し、累計出荷10万セットを超えるヒット商品を生み経産省より元気なモノ作り中小企業300社に選出。

1992年から開発を進めていたおからの出ない「大豆まるごと豆腐」は第4回日本環境経営大賞「環境プロジェクト賞」や2009年度食品産業技術功労賞を受賞。

現在は、国内外での豆腐店や飲食店の新規開店支援や超微細粉碎加工技術による加工食品の開発支援、全国各地の食材の地産地消推進 & 海外進出プロジェクトのサポートに奔走中。



株式会社KISYABAREE 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー

須部 貴之 氏



株式会社KISYABAREE（騎射場リー） 代表取締役

NPO法人薩摩リーダーシップフォーラム SELF 代表理事

1978年生まれ。ディズニー、三井不動産グループを経て、2013年に鹿児島へUターン。「騎射場のきさき市」という1万人規模の地域イベントを主宰。地域開発と人材育成を軸にこれからの地域に必要な場を支える株式会社KISYABAREEを設立。民間や行政の様々な主体と連携して、地域開発事業、人材育成事業、組織開発事業などのプロデュースと不動産業を手がけている。2020年11月「共に未来をつくる」をコンセプトにNPO法人「薩摩リーダーシップフォーラム SELF」を共同設立し、4月鹿児島県庁最上階コワーキング整備事業（SOUU）をオープンさせる。



西精工株式会社 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー

西 泰宏 氏



1963年、徳島県生まれ。神奈川大学卒業後、広告代理店の営業を経て西精工株式会社に入社。風土改革をすすめ、利益追求ではなく社員満足を目指す経営理念を制定する。2008年、代表取締役社長に就任。「人間尊重」、「お役立ち」、「相互信頼関係」、「堅実経営」、「家族愛」の創業の精神を制定し、社員との対話を続け、理念やビジョンを浸透。社員満足度日本一企業として評価されている。共著に『人間性尊重型大家族主義経営』がある。西精工株式会社は1923年、ボルトの製造で創業。自動車部品などのナットを中心とした、お客様にとって価値の高い製品 = 「ファインパーツ」を製造・販売。「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞（中小企業庁長官賞）をはじめ「経営品質賞」「ホワイト企業大賞」「おもてなし経営企業選」「稲盛経営者賞」他、多数受賞する四国を代表する優良企業。



株式会社アルプス 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー

金丸 滋 氏



1997年4月より日本電気株式会社にて、システム営業を担当。その後、六本木で串焼き店「串とろ」を開業。2004年2月に新規事業推進をしていた株式会社アルプスに入社。外食事業部長、管理サービス事業部長、財務部長、人財管理部長を歴任。2018年6月代表取締役社長に就任。2017年12月設立のフィリピン子会社 JKPDreambigHotel inc.ではCEOを務める。



株式会社CAMPFIRE Startups 代表取締役
経営実践研究会アドバイザー

出縄 良人 氏



静岡県生まれ。慶應義塾大学卒業。平成9年、ディー・ブレイン証券設立。30年ぶりに設立された独立系証券会社として話題となるとともに、日本証券業協会のグリーンシート市場や新興市場を活用した中小企業・ベンチャー企業の株式公募による資金調達支援に専門性を発揮。株式公開専門証券会社として企業成長のインフラづくりに邁進。公認会計士。



株式会社経済界 特別顧問
経営実践研究会アドバイザー

世田 徹 氏



1974年に株式会社経済界に入社。

社会の経済動向をいち早く察知し、グローバルに情報を発信している株式会社経済界において、長年培ってきた企業の動向を読み取る力に定評があり、役員を歴任。その後、常務取締役として活躍。現在は特別顧問として、今後の国内外の経済動向を見守るとともに、後進育成に尽力している。



鳥飼総合法律事務所 代表弁護士
日本税理士会連合会 顧問
経営実践研究会アドバイザー

鳥飼 重和 氏



1947年福岡県生まれ。中央大学法学部卒業。税理士事務所勤務後、90年弁護士登録。94年鳥飼総合法律事務所開設、代表弁護士に就任。一部上場企業から急成長のベンチャーまで、数多くの社長と会社の用心棒的経営参謀になっている。

「社長を守ることが、会社を守ることにつながる」との信念で、自由競争社会で最強の武器である法律を活用し、「戦わずして勝つ」経営参謀型の弁護士。輝かしい実績をもつ税務訴訟の開拓者。現在は、「変革期の現在、社長と会社を守るには、想定外の事態への事前対応・準備が必要」と、従来からの訴訟中心の紛争解決型ではなく、経営と法務を統合したリスク想定回避型の戦略提案を活動の中心に据えている。

日本経済新聞社が調査した「企業が選ぶ弁護士ランキング」の「税務部門」の第1回の2013年及び第2回の2016年で、いずれも総合1位。さらに、2017年の「金融・ファイナンス部門」でも、5位に選ばれている。また、世界の法曹界や企業が注目する評価機構チェンバーズの2018年弁護士ランキングでは、「税務部門」の筆頭に選出。



株式会社さわかみホールディングス 代表取締役
経営実践研究会 顧問

澤上 篤人 氏



71年から74年までスイス・キャピタル・インターナショナルにてアナリスト兼ファンドアドバイザー。その後、80年から96年までピクテ・ジャパン代表を務めました。96年にさわかみ投資顧問（現さわかみ投信）を設立。99年には「さわかみファンド」を設定。これまで「さわかみファンド」1本のみでの運用で純資産は3,400億円、顧客数は11.8万人を超え、日本における長期運用のパイオニアとして熱い支持を集めています。また昨今は成熟経済を活性化すべく、「カッコいいお金のつかい方」を提唱し、そのモデルとなるべく財団活動も積極的に行っています。

書籍 新著『暴落相場とインフレ 本番はこれからだ』（明日香出版社）などがある。

（2022年12月時点）



株式会社都築経営研究所 代表取締役
元 ローソンジャパン 社長
経営実践研究会 アドバイザー



都築 富士男 氏



スーパーマーケット・ダイエーに入社。米国勤務を経てローソン再建のために帰国。当時80店舗しかなかった店舗数を、在籍中3000店舗にまで拡大し、倒産寸前だったローソンを再建。全国展開の日本を代表するコンビニエンス・チェーンに急成長させる。その後上場会社の社長を経て独立。現在は、コンサルティング、企業顧問、講演活動を行っている。また、内閣官房地域活性化伝道師、六次産業化プランナー、全日本農商工連携推進協議会の会長として、中小企業と農業、農村の活性化の支援で活躍中。



ミナミ産業株式会社 代表取締役
経営実践研究会 アドバイザー

南川 勤 氏



1963年三重県四日市市生まれ。武蔵大学経済学部卒業後ミナミ産業に入社。1992年、社長に就任。1994年、初代全国豆腐機器青年工業会会長に就任。

持ち前の研究心と発想力で地元萬古焼とのコラボにより開発した卓上で豆腐ができる「萬来鍋」「萬来豆乳」は海外のフレンチの3つ星レストランでも使われ世界22カ国へ輸出し、累計出荷10万セットを超えるヒット商品を生み経産省より元気なモノ作り中小企業300社に選出。

1992年から開発を進めていたおからの出ない「大豆まるごと豆腐」は第4回日本環境経営大賞「環境プロジェクト賞」や2009年度食品産業技術功労賞を受賞。

現在は、国内外での豆腐店や飲食店の新規開店支援や超微細粉碎加工技術による加工食品の開発支援、全国各地の食材の地産地消推進 & 海外進出プロジェクトのサポートに奔走中。



世界経済フォーラム第四次産業革命日本センタースマートシティプロジェクト長
経営実践研究会 サポーター

平山 雄太 氏



世界経済フォーラム第四次産業革命日本センタースマートシティプロジェクト長。民間企業にて複数の新規事業の立ち上げや交通系ICカード事業のPMO業務に携わる。福岡地域戦略推進協議会では自治体や企業と連携したスタートアップ支援、海外都市提携、オープンイノベーションなどのプロジェクトを推進。Fukuoka Smart Eastなどのスマートシティプロジェクトを担当。2019年より世界経済フォーラム第四次産業革命センターにてスマートシティスペシャリストとして、テクノロジーガバナンスに関する都市や自治体のサポート役となり、国内外のスマートシティの実現に貢献することをゴールとし、プロジェクトを率いる。2021年より現職。その他、2018年より名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部客員准教授、2020年より熊本大学客員准教授としてスタートアップ支援・オープンイノベーション推進を行っている。



元ハンドボール日本代表主将
経営実践研究会 サポーター

東 俊介 氏



元ハンドボール日本代表主将。大崎電気にて日本一を**9度**獲得、日本代表としてアテネ五輪アジア予選、アジア選手権など数々の国際試合に出場し、**2009年**に現役引退。

引退後は早稲田大学大学院にて元巨人軍の桑田真澄氏らとともにスポーツマネジメントを学び、修士論文は優秀論文賞を受賞。ハンドボールをビジネスとすべく、日本リーグ機構の運営に関わり、現在は独立。

運動音痴の少年がハンドボールに出会い、努力する習慣と思いやりを身につけ、数々の挫折を乗り越えて日本代表主将になるまで成長する物語はJFAころのプロジェクト「夢の教室」でもトップクラスの人気を誇る。

株式会社フェアスタート代表取締役社長兼NPO法人フェアスタートサポート代表理事
経営実践研究会 サポーター



永岡 鉄平 氏



1981年横浜市生まれ。大学卒業後、リクルートグループに入社し、求人広告の法人営業に2年間従事。その後、当時の顧客に誘いを受け、大学院生の高学歴ワーキングプア問題を解決することを目的とした就職支援会社の設立に参画。通算5年間、企業の採用支援、学生の就職支援双方に従事する中で、若者の世界において、労働者と雇用者との需給関係に根深い課題を認識。「若者と雇用」をテーマに、未解決な社会的課題の解決に挑戦したいと起業を決心し、起業準備中に様々課題を調査する中で社会的養護の子ども達・若者達の存在を知る。

親からの支援が見込めない中、逆にだからこそ同世代よりは働くことに真剣に向き合い、高校卒業後18歳という若さで社会に挑戦するものの、多くがワーキングプアとなる彼等・彼女等の現実を知り、人材業界で培った経験を活かし、彼等・彼女等の就労支援を決心する。